



Weekly Report

ロータリーのマジック

THE MAGIC OF ROTARY

2024～2025年度 RI2540 地区テーマ

「小さな奉仕を積み重ね、
希望の未来へ前進しよう」

大館中央ロータリークラブ

ODATE CHUO ROTARY CLUB

R I 会長：ステファニーA.アーチック

地区ガバナー：佐藤 和志（田沢湖RC）

会長：菅原 新一

幹事：秦 誠

会報委員長：尾形 勝美

第1389例会 2025年2月17日

■出席報告

会員数 15名

本日 出席者 10名 出席率 66.66%

11/18修正 出席者 14名 出席率 93.33%

修正率 93.33%



■例会

毎週月曜日 12:30～

秋北電機工業(株)

■事務局

〒017-0055 大館市宇沼館 91

秋北電機工業(株)内

TEL:0186-42-7275

FAX:0186-45-1552

E-mail:ri2540odatechuo@gmail.com

■会長の時間 担当：洞田会員

皆さんプレコンセプションケアという言葉をご存じですか？私は知らなかったんですが、プレコンセプションケアとは、女性の妊娠を見据えた健康管理のことをいうみたいです。少し前にニュースになったんですが、秋田県が過去に高校生に配った冊子が問題になったニュースです。内容は県配布の冊子で、「将来、ママにパパになりたいあなたへ～妊娠・出産のリミット～」という冊子で高校生へ秋田県が配っておりました。これは東京の方で作成された冊子で、10年前に作成された冊子です。全14ページで女性の高齢出産のリスクとか不妊治療、避妊等を図解で説明する。そんな冊子を高校生に配っていました。それだけは別に問題がないことだとは思いますが、ただ、その内容が少し問題でして、女性の卵子の老化を表現したイラストとか文言に SNS で批判が集中しまして、偏見につながりかねないという問題視され、県としても配慮が欠けていたと釈明する様な事態になっております。私も見たんですけども、具体的にどんな内容かといいますと、例えばイラストがいろいろ書いてあるんですけども、35歳を迎えた女性がもう手遅れみたいなことを冊子の中で言ってます。また50歳以上の卵子のイラストがあるんですが、そこに大きく閉店って書いてあるんですね。男性に対しては脱草食化、脱って抜けるといういみで、草食化で要は肉食になれないみたいな表現があります。そんな表現が問題になっているという状況でございます。ネットメディアがこれを問題視して、女性を傷つけていると非難が殺到したり、秋田県で子供を産みたくない…など県への批判が相次いでいるような状況です。これが10年前だったら今とは違う状況だったかもしれません。冊子をもらった高校生が、これはおかしいと言ったわけではなくて、ネットメディアがこれを見つけておかしいんじゃないか？ということを発表して、そこからどんどん紛糾していったんです。なので今の時代が当事者じゃなくて、その周りとかネットがスタートして、そこからどんどんという風に広がっていくというのは、そんなちょっと生きづらい世の中になったというのが改めて時代の変化を感じる次第でございました。



ニコニコBOX 本日の合計 1,000円 目標 300,000円 47.6%達成

○秦 誠幹事＝もうすぐ春、ゴルフシーズン到来が待ち遠しいこの頃です。会長代理、次期会長の尾形さん今日は楽しみに！

■メイクアップ

2月12日(水)大館RC、2月13日(木)十和田秋田RCへ 西村ガバナー補佐

■ロータリーの友 縦：工藤会員 横：三浦会員

～縦書き～

P4～ スピーチ 言葉を守るテレビディレクターの考える戦争

映像ディレクター・作家 渡辺 考

今こそ自分たちメディアが、戦争と深い関係性にあったという事実の重みをかみしめ、問い直すべきタイミングだと思っています。メディアは抑止力のひとつでありたいですし、対話のためのコミュニケーションツールでもあります。

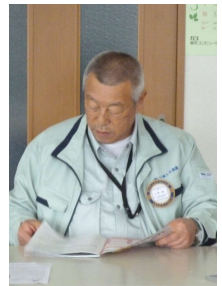
個々の価値観が矮小化し、分断の時代とされる今こそ、私たちの役割は高まっています。未来の世代のために、あえて、過去を見つめることも大事だと感じています。



～横書き～

P7～ 平和構築と紛争予防月間 差別、闘い、そして未来への夢 ジョージ・武井

1966年に放送が開始されたテレビドラマ「スター・トレック」。宇宙船エンタープライズ号の乗組員たちは、異なるバックグラウンドを持つが、違いを尊重し合い、困難な状況下でも協力して解決策を見つけていく。その操舵士、ヒカル・スルースを演じたジョージ・武井さん。しかし、ドラマの世界と、ジョージさんがたどる人生はまるで異なるものだった。幼少期に強制収容を経験、その後もさまざまな困難を乗り越えてきた彼が今思うことは？アメリカ・ロサンゼルスにある、リトル東京でロータリークラブを創立した、中曽根牧子さんがインタビューした。



P19～第53回ロータリー研究会レポート

10月24日の世界ポリオデーにちなんで、日本各地でポリオ根絶への取り組みが行われました。

みんなでポリオデー 第2540地区 秋田 佐藤和志ガバナー(田沢湖RC)

田沢湖RCに入会してから25年になります。ガバナーを拝命するとは思ってもみませんでした。ガバナーエレクト研修、国際協議会を経て、7月からは県内40の公式訪問を開始。各クラブの活動状況を聞くたびに、どこも素晴らしい活動をしているなと感じました。でも、地区としてみんなが一緒に参加できる活動が少ないことに気が付いたのです。そこで、以前から個人的にもポリオ根絶に関心がありましたので、早速ロータリー財団委員長をはじめ地区の役員と相談。すると、「地区を挙げてポリオデーを」という声。そこで10月26日、秋田駅前県各地から赤いTシャツを着たロータリアンが集結し募金活動を行いました。